

指定管理者評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立光明の郷ケアセンター
指定管理者名	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
開催日	令和4年（2022年）12月6日（火）
開催場所	総合保健福祉センター分館 2階講堂
合議の出席者	箕面市西部地域包括支援センター管理者 安田 知美氏 箕面認知症家族会「びわの会」理事 鶴岡 裕見子氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会会長 岡本 有子氏 箕面手をつなぐ親の会幹事 坂口 勝子氏 箕面市障害者市民施策推進協議会座長 安東 由紀子氏

【概要】別添のとおり

内容

令和4年12月6日(火)に総合保健福祉センター分館2階講堂にて、指定管理者の評価に係る合議を実施しました。主な内容は下記のとおりです。

1) 障害者地域活動支援センター事業について

指定管理者から、アンケート結果の概要説明があり、照明が暗いなどすぐに対応出来るものは対応済みであること、職員への不満については、真摯に向き合っていきたいとの説明がありました。また、アンケートのご意見にありお声をいただくものとして、地域のお祭りに参加したいことや、もう少し身体を動かしたいという声が多いとの説明がありました。

合議メンバーからは、より良いケアへの取り組み、コロナ禍での施設対応、アンケートにある職員への不満や、広報について質問があり、指定管理者から、より良いケアへの取り組みについては、外部からのコンサルテーションを受けたことで、ご利用者おひとりおひとりの個性を尊重しながらの対応がスムーズになり、結果として利用者自身の活動も活発になっている、またコロナ禍での施設対応については、ご利用者が、マスクが出来ないことを理由に居場所が無くなることは避け、事業所としても感染対策を講じながら休むことなく運営出来たとの報告がありました。広報については、おしながき作成の注文用紙を作り、発注が増えたことや、名刺作成は、需用と供給のバランスを見ながら、今後、広報していきたいとの説明がありました。

そのほか、インスタでの発信について見られないかたもいるのではとのご意見があり、指定管理者からは、紙媒体で地域へのポスティングを検討しているとの説明がありました。

2) 老人デイサービスセンターについて

指定管理者から、障がい福祉サービス(共生型生活介護)について1名のご利用があることや、アンケート結果の概要説明がありました。また、コロナ禍で健康教室の開催や、東小学校との多世代交流行事については、感染予防の観点から実施していないこと、健康教室については、今まで参加くださったかたとの繋がりを保つため、定期的に光明の郷通信を送付しているとの説明がありました。アンケート結果で改善すべきと指摘された項目として、入浴については、ご利用者のその日のお体状態にあわせて対応していることや、出来る限りご利用者のかたの意向に添えるよう対応するとの説明がありました。

3) 小規模多機能型居宅介護事業所「ひねもす」について

指定管理者から、利用者より外出したいとお声があり、各ご利用者の行きたい美容院への同行を実施し好評であることや、無料体験日は、体験した4名のかたについてご登録いただいたこと、夜間訪問体制強化の検討として勉強会へ参加したこと、またサービスについても通いから訪問への切替えをしながら、看取りに寄り添っていききたいとの説明がありました。そのほか、アンケート結果の概要説明があり、改善すべきと思われたことについて、連絡帳については長文での記載は難しく、ご家族からご希望がある場合は、電話連絡などで対応していることや、動画の発信については、安全面からまだ実施はしていないとの説明がありました。そのほか、行事の復活や散歩、歩行訓練などは、徐々に取り組んでいきたいとの説明がありました。

合議メンバーからは、看取りについて、ご利用されるご家族にどのように説明しているかの質問があり、登録時や施設のきまりとして説明することはなく、ご利用者の状況にあわせて、対応しているとの説明がありました。

4) 総評

各事業について、事業ごとに工夫した取組を行っており、障害者、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、継続的に実施していくべき事業内容であることを確認しました。

アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。